

4K・8K放送に関する 周知広報の考え方（案）

昨年12月20日の第2回「視聴環境分科会」における『4K・8Kに関する周知・広報について』を踏まえ、A-PABとして、当面の2017年～2018年を意識して、「周知広報の考え方」を取り纏めたのでご報告する。

2017年3月7日

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会（A-PAB）

【はじめに】放送の高度化と推進組織

1990年代

2000年～

2011年～12年

2016年～

ハイビジョン

2000年12月
BSデジタル放送

BS・地上
デジタル放送
完全移行（2K）

2K・4K・8K時代の
本格到来に向けて



2007年4月 統合



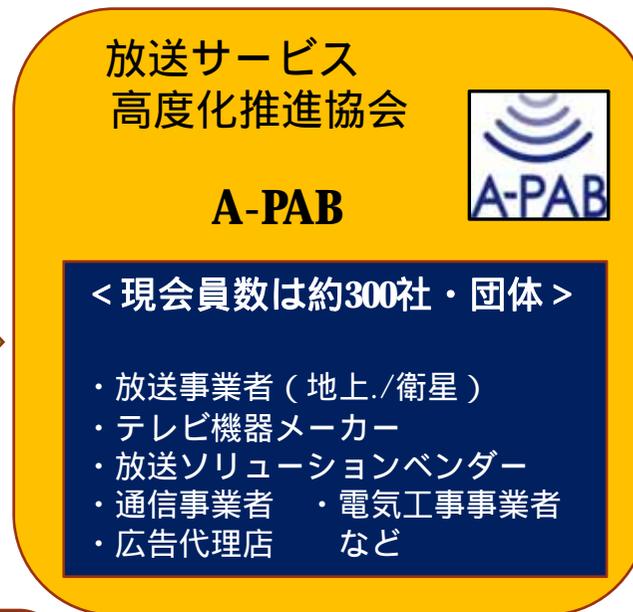
2003年12月
地上デジタル放送



2013年5月 設立



2016年4月 統合



【1】4Kテレビの現状を整理すると (1/2)

(1)4Kテレビの出荷状況&見通し (出荷データはJEITA調査による)

- ・ 2016年では、TV全体の、台数で26% (122万台) /金額で56%を占めた
- ・ 2016年末での累計出荷台数は216万台 <世帯普及率に換算すると4%程度>
- ・ 今後は、2017年：190万台 2021年：500万台で33%/年の伸びを予測
(2021年には、TV全体に占める割合は6割を超える)

(2)一般ユーザーの4K・8Kに関する認知の調査

周知広報事業を進める上で、一般ユーザーの認知実態を把握しておくことが重要との判断から、昨年9月に全国5000人を対象にネット調査を実施。(今後も定期的に調査の予定)

現在販売中の4Kテレビ単体では試験放送・実用放送は見られないことを知っている	6.5%
4K・8K放送が始まると今の地上波・衛星の放送は終了する	その通り：9.4% そうではない：19.7%
4Kをテレビ・映像関連の言葉として知っている	74.2%
2018年からの実用放送を知っている	2.4%



誤解を解き、もっと知って頂く。更に興味を持ってもらうことが重要
そのための体制・インフラ作りが急務

【1】 4Kテレビの現状を整理すると (2/2)

(3) BS・110度CSによる4K・8K実用放送の認定

放送開始は2018年12月1日

		《右旋》	《左旋》
BS	4K	<ul style="list-style-type: none"> ・ NHK ・ ビーエス朝日 ・ BSジャパン ・ BS日本(2019.12.1~) ・ BS-TBS ・ ビーエスフジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ SCサテライト放送 ・ QVCサテライト(2018.12.31~) ・ 東北新社 ・ WOWOW(2020.12.1~)
BS	8K	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ NHK
110度CS	4K	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ スカパー・エンターテイメント (8ch)

受信する
ためには？

新4Kチューナーを購入すれば、現状の受信環境で視聴可

新4K・8K受信機その他、アンテナや屋内配信機器などの対応が必要

【2】 先ずはリーフレット & ポスターで周知活動

販売関連団体・消費者関連団体のご協力を得ながらスタート

4K・8Kサービスガイド

The image shows several promotional materials for 4K and 8K services. At the top left is a TV advertisement for the year 2021, announcing the start of 4K and 8K broadcasts from December. Below it is a detailed service guide titled '4K・8Kの魅力' (The charm of 4K/8K), which lists various content and services available. At the bottom is a Q&A sheet titled 'よくあるご質問' (Frequently asked questions), providing answers to common inquiries about the services.

当面の注力は第一線の販売員の教育支援
 ・eラーニングツールの提供
 ・販売責任者との情報交換会の開催
 ・専門問い合わせ窓口の設置 など

消費者視点に配慮し、新情報を反映しながら、リーフレット等を継続してメンテ

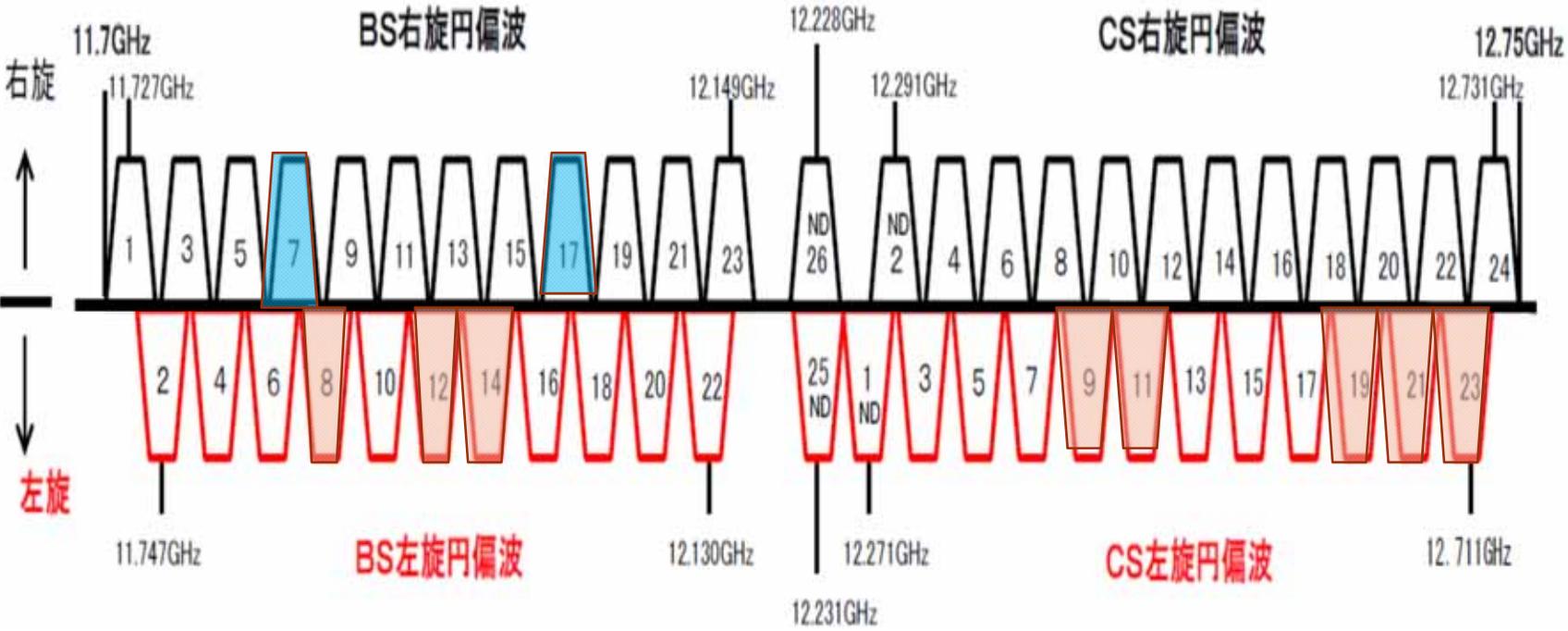
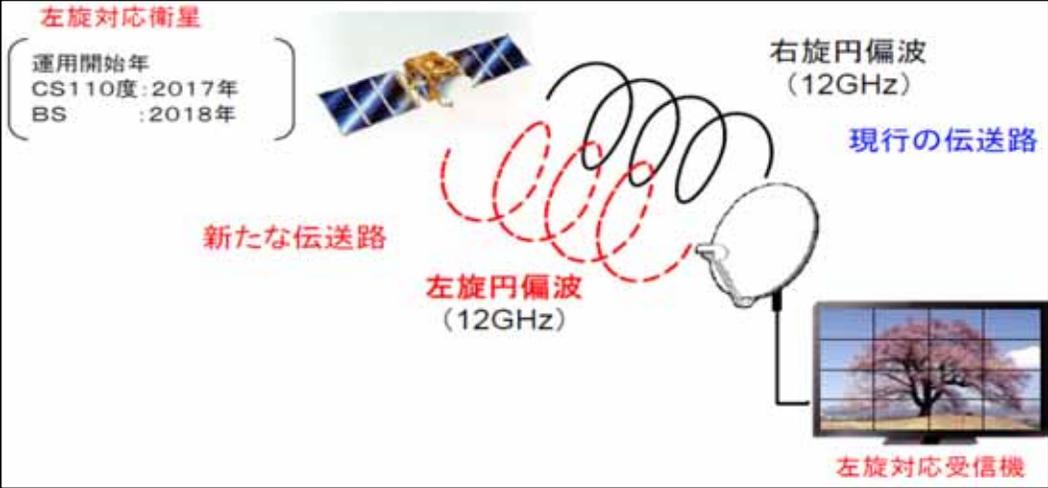
< 当面の課題は「呼称」の決定 >
 ~ 現在、関係者で検討中 ~

各放送における4K・8K放送の呼称等

	BS	110度CS	124/128度CS	ケーブル
2K等	BSデジタル BS DIGITAL	110度CSデジタル 110 CS DIGITAL	124/128度CSデジタル or スカパー！プレミアムサービス スカパー！	各社毎
4K	「衛星4K・8K新放送(仮)」 現在、 (一社)放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)にて検討中		チャンネル名は、 スカパー！4K映画 スカパー！4K総合 スカパー！4K体験	ケーブル 4K
8K			-	-

ご参考

BS・110度CSによる「左旋放送」は、今のアンテナでは受信できません

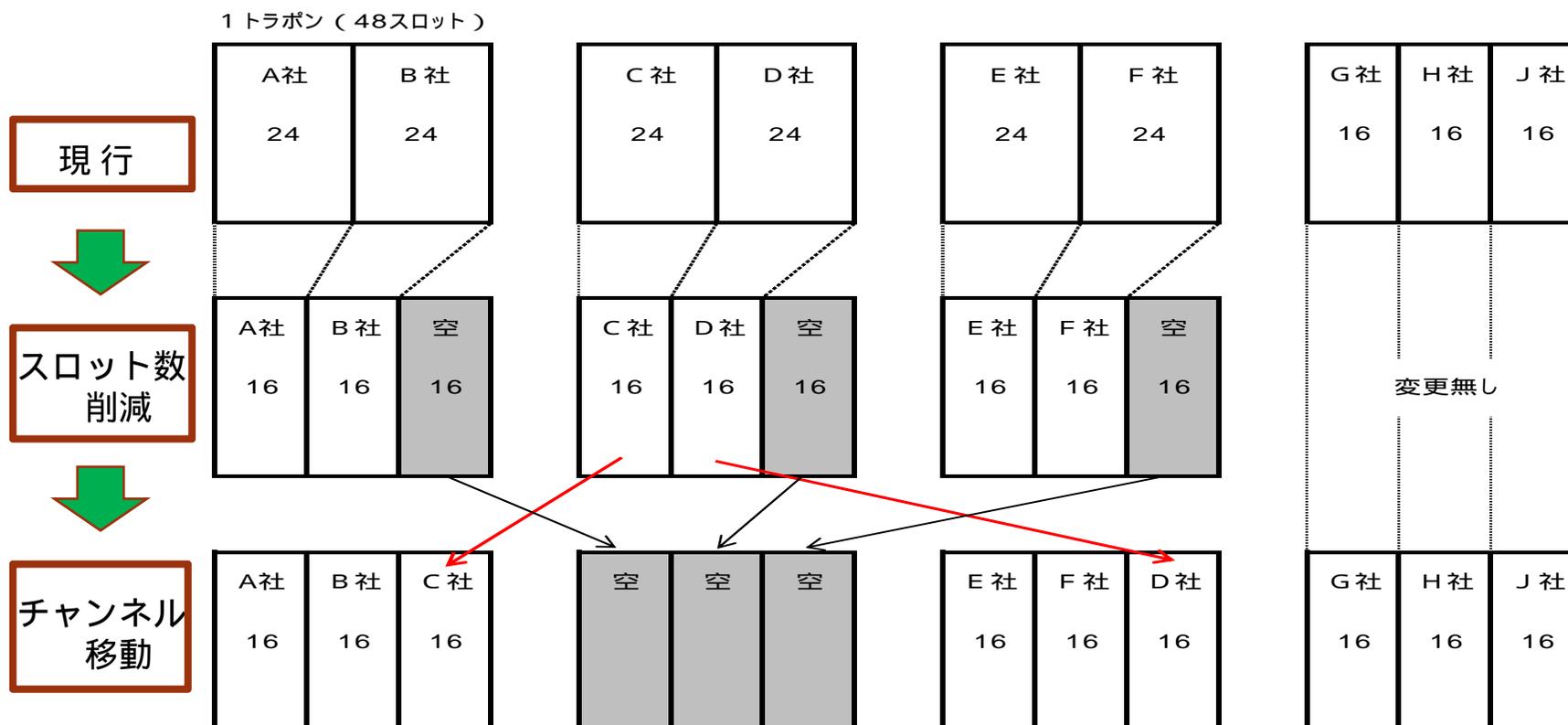


【3】 <課題1>は「BS右旋の帯域再編対応」 (1/2)

(1) BS右旋の帯域再編とは？

- ・現在のBS受信環境で4K放送受信可能なチャンネル数を増やすため、既存のBS放送のうち、希望する事業者が帯域を削減し、新たな4K放送用帯域を生み出す。現在のBS試験放送の帯域と合わせ、合計6chの4K実用放送が可能となる。

下記のようなステップで再編（イメージ）



【3】 <課題1>は「BS右旋の帯域再編対応」 (2/2)

(2) 想定される問題点

- ・ほとんどのBS受信機ではチャンネル変更の際に自動的に追従するが、ごく一部の受信機では手動操作が必要
- ・録画機において予約が実行されない/録画失敗等が一時的に発生する可能性
- ・ケーブルテレビ側での改修作業が必要

(3) 対象となるチャンネル

現行BS29ch中10ch

< 4K放送とは関係のない12Kのチャンネルにも影響 >

(4) 時期及び期間

関連する放送事業者と総務省から構成される「対策部会」の場で検討中

(5) 対応策

事前の周知。特に帯域再編を行うチャンネルにおける視聴者への告知が有効
コールセンターの設置

(帯域再編に関する周知を中心に、4K・8K放送に関するお問い合わせ対応)
ケーブルテレビ事業者の対応等について関係団体と連携強化

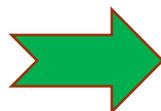
【4】 <課題2>は「BS・110度CS左旋の普及」

課題

対応策

受信インフラの再構築

受信インフラ(アンテナ、増幅器、分岐・分配器、壁面端子など)の再構築が必要



電気店、電気工事店などへの再構築必要性の周知
JEITA制定の「SHマーク」の周知とその認定機器利用の促進

通信・機器との干渉(漏洩)

既存の受信システムに左旋信号を伝送すると、ブースター等から電波が漏れ、また、壁面端子等に妨害が入り込む等、他の通信や機器との干渉が発生



電気店、電気工事店、CATV施工業者などに干渉(漏洩)対策の周知
一般視聴者が自ら施工することも想定し、干渉(漏洩)発生の可能性の周知やコールセンターの設置

集合住宅への導入

分譲マンション等の受信インフラの改修・導入には管理組合での議決に長い時間が必要



マンション管理業団体等の研修会やセミナーを通じて、管理組合に対し、長期に亘る周知と理解促進
新築マンションや賃貸住宅への周知広報を拡大

【5】 今後の主な事象と周知活動

	主な出来事	周知広報
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 左旋試験放送開始 ・12月 4K・8K実用放送1年前 ・2月 平昌冬季五輪 	<p>関係団体・組織との連携強化 店頭や消費生活センター等での問い合わせに対応する活動</p> <p>マンション共聴等、足の長い対応が必要となる衛星受信システムについての啓発活動</p> <p>BS右旋の帯域再編に関する周知・問い合わせ対応 特に帯域再編の対象となるチャンネルを中心とした放送による周知</p>
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・6.7月 FIFAロシアWカップ ・7月 BS試験放送終了 ・秋頃 4K受信チューナー発売 4K・8Kチューナー内蔵テレビ発売 ・12月 4K・8K実用放送開始 	<p>対応受信機の発売時期、価格、機能等について 随時、情報提供を行う</p> <p>大型イベント等に合わせた「総合番組表」等 放送受信、パブリックビューイング等での周知展開</p>
2019年度	<ul style="list-style-type: none"> ・8月頃 東京プレオリンピック ・9.10月 ラグビーWカップ日本 	<p>周知広報 普及拡大 ステップへ</p>
2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ・7～8月 東京オリンピック & パラリンピック 	